

## 近畿大学病院で持続血液濾過透析治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院人工透析部（以下、当部署）では、「置換液希釈法の違いによる持続緩徐式血液濾過膜の比較」という臨床研究を行っています。そのため、当科で持続血液濾過透析治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会（<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>）で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

### ① 試料・情報の利用目的及び利用方法

この研究では持続的血液濾過透析（以下 CHDF）の透析液や補充液などのバランスの違いで、透析膜（中空糸膜）に対する影響や使用継続できる時間影響があるかどうかについて調べることを主な目的としています。そのため、当院で CHDF を受けられた患者様のうち、（2021 年 4 月～2023 年 10 月までの期間で持続的血液濾過透析を実施した患者さまの中で、治療期間中に腎機能悪化や回路凝固等の理由で設定条件を変更した患者さまを対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。また本研究において取得した対象者の試料・情報の二次利用を行う場合には、改めて研究計画を立案し、倫理委員会における審査及び承認後、医学部長による実施の許可を得た上でなければ、利用することはありません。

### ② 利用する試料・情報の項目

- カルテ情報（年齢、性別、診断名、臨床病期、治療方法、予後に関する情報）
- 各種検査結果（血液学的検査、血液生化学的検査、血液凝固検査、尿検査）
- 使用後の持続緩徐式血液濾過器の走査電子顕微鏡像の画像データ

### ③ 利用を開始する予定日

医学部長による実施許可日（2024 年 2 月 20 日）

### ④ 利用する者の範囲

研究責任者 近畿大学病院 腎臓内科 主任教授 有馬秀二  
研究分担者 近畿大学病院 腎臓内科 講師 坂口美佳  
近畿大学病院 臨床工学部 技術科長代理 藤堂 敦  
近畿大学病院 救命救急科 主任教授 篠崎広一郎

### ⑤ 試料・情報の管理について責任を有するものの名称

近畿大学病院

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者の利用を停止すること

研究の対象となる方、またはその代理人のご希望に応じて、本研究についての研究計画書および研究方法に関する資料を入手・閲覧できます。また、診療情報や CHDF 使用後の器材などを研究に用いて欲しくないと思われた場合には、以下の研究責任者に遠慮なくご連絡ください。その場合、研究データの利用を停止いたします。ただし、研究用に情報を集積し、解析を開始した後は、お申し出いただいても利用を停止することができませんので、ご承知おきください。情報の利用の停止を申し出られてもこれからの治療方針に影響を与えることはありません。

⑦ ⑥の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院 腎臓内科 講師 坂口美佳

大阪府大阪狭山市大野東 377-2

電話：072-366-0221（内線：5454） FAX：072-366-0208

(月曜～金曜 9 時～17 時／土曜 9 時～12 時／但し 11 月 5 日は創立記念日で休み)

以上